令和元年度　市民が共におこすまちづくり事業

市民活動推進事業に対するコメント概要

<table>
<tr><td colspan="2">事業名</td><td colspan="6">吉海町正味集落の里山復活事業</td></tr>
<tr><td colspan="2">実施団体名</td><td colspan="6">吉海町正味自治会</td></tr>
<tr><td colspan="2">事業概要</td><td colspan="6">　一昔前に正味の裏山は５段になった段々畑で主に柑橘類を栽培し、海を見渡す景観が素晴らしい場所であったが、近年は高齢化に伴い荒れ放題となり、竹林が浸食し人家にまで出没するいのししに悩まされてきた。５年前よりNPO法人アクションアイランドの協力の下で竹林を伐採し少しずつ整備されているが引き続き残された竹林を伐採し里山の復活に寄与したい。
　侵食している孟宗竹をチェーンソーで伐採し、竹の根をユンボで掘り起こす。下草は草刈機で刈り払い整地しその後にオリーブやレモンを植栽し、同時に芝生も植えて各種イベントの舞台とする。</td></tr>
<tr><td colspan="2">事業の発展性</td><td colspan="6">　今回の事業で段々畑の最上段まで整地を行った。同時に里山の方で工作放棄地が広く残っており地権者の了解も得ているので今後追加100本のオリーブ増殖を目指している。愛媛県の方でも大島のオリーブ生産に力を入れており、情報交換を行っている。</td></tr>
<tr><td colspan="2">補助額</td><td>市補助額</td><td>500,000</td><td>総事業額</td><td>758,446</td><td>補助対象経費</td><td>758,446</td></tr>
<tr><td rowspan="2">コメント</td><td>実施団体</td><td colspan="6">＜事業を実施しての効果＞
　景観が様変わりしたと同時に作業を通じて集落の一体感がより一層強くなった。50本のオリーブが植わり草刈などの世話をする楽しみも出てきて、更なる増殖の意欲が沸いてきた。
＜事業を実施しての問題点＞
　島内の機材リースが災害復興需要当でタイトになっており、借り受けのタイミングに多少苦労した。
＜問題点に対する解決策＞
　機材を保有している業者と早めに話を進め、意思疎通を図ることで解決した。</td></tr>
<tr><td>市民活動推進委員</td><td colspan="6">（１）公益性
・オリーブ畑が大島の名物又特産品になることを期待する。
・正味集落の放置竹林対策にはなるが、波及効果は難しい。集落以外の人がどれだけ参加してくれるかが課題。
・一年目という事で作業が中心になったと思うが今後、予定通りイベントなどに活用でき、オリーブ、レモンの活用なども具体的に事業として取り組めたら良い。
（２）自発性
・県の方針も踏まえて自発的に情報交換されていることが評価できる。
・業者任せではなく、熱意は感じられる。
・今回は伐採作業中心に感じられ、作業は大変だったと思う。オリーブ、レモンのお世話など、どんな形で参加者が行っているのかもう少し詳しく知りたい。
（３）費用対効果及び継続性
・一過性ではなく、継続してもらえると思う。
・今後、オリーブやレモンを育てて、集落外の人を呼べるかどうかがポイント。
・今後、この事業を進めるにあたって、事業として収益がどのように出るのか明確にする必要があるのではないか。具体的な計画がないと補助金なしでは厳しいと思う。
（４）団体の評価
・団体にまとまりがあるように見受けられる。専門性は確認できない。
・実施状況写真でも、協力しながら進めている様子が分かり、信頼性がある。
（５）事業の効果
・市民は期待していると思う。
・地権者の理解も得られて今後の増殖にも期待できる。
・多くの市民が参加できるものではないので、まちづくり事業としては難しい。
・今回の報告書だけでは、小豆島の講師に学び実行したことや、愛媛県との情報交換により団体が今後どのように進めていくのかが見えないため継続性は判断できない。</td></tr>
</table>

市民活動推進事業に対するコメント概要

事業名		**吉海町正味集落の里山復活事業**
実施団体名		吉海町正味自治会
コメント	市民活動推進委員	**（6）全体評価** ・リーダーがしっかりしている地域であり、事業の効果は十分期待できるが、今後地域の拡大、リーダーの確保に力を入れてほしい。（持続性も含め） ・当初予定していた小豆島からの講師派遣も、全て県内事業者で賄えたということで継続的な人脈が広がったことと感じる。今回の事業により、まずは最上段まで整地が行えたとのこと。段階的にオリーブや植物を植栽し、その空間に地元住民が集まることで地域活性化のための巻き込みがさらに広がれば良い。 ・作業を通じて集落の一体感がより一層強くなったことが、追加100本のオリーブ増殖へとつながったものと思う。伐採した孟宗竹を加工して炭として販売する、また、オリーブが収穫できるようになれば、それらも加工して販売するルートを確立され、今後ますます生産性のある事業となるよう願う。 ・人口減少が進む中、集落の住民が協働で作業することは良いことだと思う。今後、オリーブやレモンが順調に育って、多くの市民が訪れることが出来れば良い。 ・近年どこの山にも竹が増え竹林は面積を増やす一方である。そんな景色を嘆かわしく思っていた。そんな中、里山復活事業で竹林をオリーブ畑に変え次世代へつなげていき、将来は生産・加工・販売も視野に入れて若者の職場や収入源となるような活動になれば良い。地道な活動であり、実を結ぶまでには年月もかかるが、将来は「オリーブ」といえば「吉海」と言われるような産業になるように発展させていってほしいと願う。 ・過疎化が進む集落で共同作業で活性化につながったことは素晴らしい。しかし、開拓だけでなく今後何をするためにオリーブ等の栽培を自治会として取り組んでいくのかが見えづらく、今後の活動がわかりにくいのでそのあたりを明確にすることで、地域住民だけでなくこの効果が他の地域に波及していくのではないかと考える。今後の活動に期待する。 ・孟宗竹の伐採は大変ご苦労されたと思う。オリーブ、レモンなども植えて集落の一体感が生まれたことは事業の効果といえる。今後は事業の収益性を具体的に考えた事業計画が必要だと思う。